

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 体験交流事業

札幌の子ども豊かな感性を育み、心身ともに健全な成長、またジュニアリーダー研修生が活躍することを目的に実施しています。

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策のため、事業の実施形態の変更や中止等の対応もありました。

しかしこのような状況下においても、家庭で取組んだ工作について札子連Webサイトを活用したオンライン作品展の実施や動画配信による研修などの新しい取り組みを通じ、結果として多くの子どもたちに参加してもらうことができました。

また、支部ごとに知恵をしばり工夫を凝らしての事業展開は、ピンチをチャンスに変える子ども会の新しい姿として、令和5年度の札子連創設50周年に向けての大きな一歩となりました。

(1) チャレンジキッズフェスタ

〈札幌市委託業務〉

Zoomを使ったオンライン体験事業として、仲間と協力クイズに取り組むグループワークなどを実施いたしました。(申込者110人、参加者68人)

(2) 大志塾事業

〈札幌市委託業務〉

北海道開拓150周年を契機に「北海道開拓の村」の指定管理者である一般財団法人北海道歴史文化財団の特別協力を得て実施したものです。

異なった地域や学年の子どもが参加・交流する事業で、開拓の村クラフトなどを自宅で工作し、みんなの作品展としてWebサイトで紹介しました。(参加者552人)

◇ 第1回 10月13日(水)～27日(水)

◇ 第2回 10月27日(水)～11月10日(水)

(3) 子どもまつり事業

〈札子連支部独自事業〉

子どもまつり等の名称で、区支部が主催又は子ども育成諸団体等と共催・実行委員会形式により、縁日・工作・綿あめ・物販コーナー等のほか、お化け屋敷や迷路の設置など、創意工夫を凝らした企画を行っておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止または内容を変更しての実施としました。

中央区：第40回中央区子どもまつり	：	2月 6日(日)	*中止
北 区：第39回子どもまつり	：	10月31日(日)	
東 区：第21回東区ふれあい子どもまつり	：	11月 7日(日)	*中止
白石区：白石区子ども遊芽カーニバル	：	7月12日(日)	*中止
厚別区：第28回厚別区子どもまつり	：	12月12日(日)	
清田区：子どもまつり	：	10月31日(日)	*中止
西 区：第42回西区子どもまつり	：	10月17日(日)	*中止
手稲区：子どもまつり	：	11月 3日(水・祝)	

(4) 地域における体験交流事業

★ 私たちのまちのカレンダーづくり

〈札幌市委託業務〉

今年目標や私のまちの好きなところなど、参加者から寄せられたテーマ作品を「2022」のモザイクアートに編集し、今年のカレンダーを作成し、子ども会の育成者がWebサイトで応援メッセージを送る事業を実施しました。

★ 子どもの居場所づくり事業

〈札子連支部独自事業〉

「こどもの交流の日」「遊びの広場」「プレイランド」「子どもの広場」「子ども遊びの駅」など各区支部の特性を活かした名称で、市委託業務を中心に延べ25回開催（うち2回については内容を変更して在宅プログラムでの実施）するなど、地域の交流を広げる居場所づくりを実施し、約1,500人の子どもたちに参加いただきました。

★ 子ども会学校及びその他の体験交流事業

〈札幌市補助金事業及び札子連独自事業〉

区支部の地域特性やネットワークを活かし、地域で仲間と「遊ぶ」体験活動が少ない子どもに、野外炊事・クラフト・レクゲーム・キャンプや集団活動する喜び・達成感を味わってもらおう子ども会学校などの体験交流事業を企画しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止または内容を変更しての実施となりました。

中央区：市内見学	： 11月13日(土)	*中止
第36回中央区ドリーム号	： 9月25日(土)	*中止
東区：収穫祭	： 8月28日(土)	*中止
第38回さっぽろ・ひがしミステリーGO!	： 9月12日(日)	*中止
白石区：防災アート体験	： 9月26日(日)	*中止
おうちでリモート百人一首かるた体験	： 1月30日(日)	*Zoomで実施
厚別区：第32回厚別区民まつり(協力事業)	： 7月	*中止
創作の秋だ!学びの秋だ!ワクワク体験だ! (陶芸体験)	： 10月16(土)・17日(日)	
新さっぽろ冬まつり(協力事業)	： 2月	*在宅で実施
清田区：子ども体験塾	： 8月4日(水)	*中止
第23回清田ふれあい区民まつり(協力事業)	： 7月24日(土)	*中止
冬の遊び	： 2月11日(土)	*中止
南区：第44回ジャンボリー	： 8月21日(土)	*中止
第35回紋別市子ども会交流会	： 9月	*中止
紋別市・南区子ども会リーダー交流会	： 1月	*中止
レッツゴーさっぽろ	： 10月9日(土)	*中止
西区：深川市・農業体験実習(田植え)	： 5月22日(土)	*中止
(稲刈り)	： 9月25日(土)~26日(日)	*中止
カーリング体験と市内見学	： 9月	*中止
子ども会学校「ECO&自然観察探検隊」	： 11月20日(土)	
手稲区：子ども会学校(内容変更して実施)	： 8月5日(木)	

★ 野外活動推進事業

〈札子連支部独自事業ほか〉

各区支部で、野外活動が未経験な子どもなどを対象に、野外活動の啓発とキャンプ場の利用増大を図るため、青少年キャンプ場(小野幌・西岡・手稲)等でキャンプを企画しておりましたが、令和2年度は実施できませんでした。

- ◇ 厚別区：わくわくキャンプ：7月3日（土） *中止
- ◇ 西 区：西区子ども体験キャンプ：1月22日(土)～23日(日) *中止

(5) 地域の教育機関や企業等との連携事業

<札幌市委託業務>

新たに地域の教育機関や企業等と連携し、子どもが将来の夢や目標を身近に感じ、次世代を担う人材育成の重要性を醸成する場となる体験事業を、基本的に在宅プログラムで実施し、合計で約4,500人も参加いただきました。

また初めて、中学1・2年生を対象とした体験事業、プレゼンテーション講座を開催いたしました。

- ◇ 豊平川びっくり塾（2回）
（協力：北海道開発局札幌河川事務所他）
- ◇ まるやまZOOTIME（2回）
（協力：札幌市円山動物園）
- ◇ ユニバーサルデザイン&ピクトグラム（2回）
（協力：北星学園大学）
- ◇ エネルギー塾～風の力を利用したクリーン発電～（2回）
（協力：札幌市環境局、コスモエコパワー株式会社）
- ◇ ふしぎ☆おどろきサイエンスキッズ（2回）
（協力：札幌市青少年科学館）
- ◇ シマエナガを守ろう～気候変動とSDGs（2回）
（協力：札幌市環境局、北海道大学大学院地球環境科学研究院、旭山森と人の会）
- ◇ 中学生のためのプレゼンテーション講座（2回）
（講師：株式会社ヒト・ラボ 代表取締役 村本麗子氏）

(6) キャンプ場管理運営事業

<札幌市委託業務>

札幌市青少年キャンプ場（西岡、小野幌、手稲）を管理運営しました。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、テント泊・炊事活動の中止などの使用制限を実施した結果、利用がありませんでした。

(7) 子どもの体験活動の場「Coミドリ」

南区真駒内にある旧真駒内緑小学校の施設を活用し、子どもの自立性や社会性を育む目的で、子どもの体験活動の場「Coミドリ」を管理運営して2年目となりました。

初年度の令和2年度に整備した冒険遊び場(グラウンド)・アート遊び場(体育館)でプレーパーク・体験プログラムなどを数多く開催したほか、拠点施設として市内全域への広報活動(Webサイト・PRチラシ)に取り組みました。

その結果、新型コロナウイルス感染拡大により、長期間に渡る利用人数制限及び事前予約制などの制約があったものの、年間の利用者総数は前年度に比べて大幅な増加し、年間の利用者総数は7,345人で、前年度比4,565人増、約2.6倍となりました。

また、プレーパーク事業の区別参加者も、南区約36%、他区約64%と全市的な広がりを見せました。

2 育成事業

(1) ジュニアリーダー養成研修事業

〈札幌市委託業務〉

『心とワザを磨こう！～子どもたちに魅力のあるリーダーを育てよう～』を基本的な考え方とし、ジュニアリーダーを養成する基本研修・テーマ研修(全市合同研修)を実施しました。

名称区分		対象学年	ジュニアリーダー研修回数	登録者数 (令和4.3.31現在)
基本研修	(1) 養成研修	小学4・5年生	全4回(日帰り1回、自宅研修3回)	801人 【登録者内訳】
	(2) 初級研修	小学6・中学1年生	全4回(日帰り1回、自宅研修3回)	養成：171人 初級：321人
	(3) 中級研修	中学2・3年生	全5回(日帰り2回、自宅研修3回)	中級：200人
	(4) 上級研修	高校1年生以上	全6回(日帰り1回、自宅研修5回)	上級：109人
テーマ研修 (全市合同研修)		小学4～中学3年生	10回(自宅研修・各区：「防災」)	131人(参加者数)
		中学生～高校生	1回(自宅研修：「防災」)	30人(参加者数)
		小学4～高校2年生	1回(自宅研修：「防災」)	95人(参加者数)

(2) リーダー研修事業

〈札子連独自事業〉

指定都市子ども会ジュニアリーダー札幌大会〈令和4年1月8日(土)～10日(月・祝)：札幌市開催予定〉については、ウイズコロナ禍で令和4年度に延期となりました。

(3) 育成者支援事業

〈札幌市補助金事業及び札子連独自事業〉

子ども会活動の課題を他都市と意見交換し、札子連事業等への還元を目的とした第55回全国子ども会育成中央会議及び第58回指定都市子ども会育成研究協議会は、ウイズコロナ禍で、それぞれ令和4年度へ延期となりました。

(4) 職員研修事業

〈札子連独自事業ほか〉

新任職員研修を実施し、安全共済会加入手続き等の研修会、市の業務委託仕様に基づく計画・報告手続き等の研修会の他、情報セキュリティの研修を開催しました。

(5) 札子連修了生の会(S10LC)

〈札子連独自事業ほか〉

令和3年度は、ウイズコロナ禍で事業の実施はありませんでした。

(6) 子ども会の活動活性化事業

〈札子連独自事業〉

単位子ども会の子ども会体験活動助成事業を実施し、9区28団体に利用いただきました。新規に子ども会を立ち上げる団体への支援として、3区(東・南・西)3団体へ活動助成を実施しました。(うち2団体は活動2年目。最長3年目まで助成)

(7) 子ども会活動表彰事業

〈札子連独自事業〉

当連合会の定時総会で、7年以上活動の子ども会2団体、10年以上にわたって活動してこられた子ども会育成者6名に、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰しました。

また、全国子ども会連合会には20年以上活動の育成者2名、単位子ども会1団体を推薦し、受賞されました。

3 普及啓発事業

＜共同募金会助成事業・札子連独自事業＞

子どもやその保護者、地域の関係団体や住民の皆様に、活動の楽しさや子どもの成長など、子ども会の意義やその成果を知っていただくために、広報誌の配布によるPR事業について、単位子ども会のほか、市内の小学校・児童会館・区民センターなどを通じて実施しました。

また、札子連Webサイトは、応募者へのWeb申込み、在宅事業でのWeb活用などを通じ、訪問者数が年間34,598人、閲覧数（訪問者が開いたページ数）が年間62,054件となるなど、前年度の2倍程度に増加しました。（令和2年6月に大幅なリニューアル実施）

☆ 札子連Webサイト（札子連のネット広報媒体）	訪問者数 34,598人 閲覧数 62,054件
☆ さっぽろっ子（札子連の広報誌）	年1回発行（3月）15,000部
☆ 各支部の広報紙・機関紙	年1～2回発行
☆ パネル展	区支部ごと、各種行事に合わせて開催

4 安全共済会事業

＜全子連委託業務・札子連独自事業＞

全子連の安全共済会への加入者は、新たにジュニアリーダー研修生及び体験事業の参加者を加えたことにより、20,301人で、前年度16,174人から4,127人増（約26%増）となりました。

一方、単位子ども会数は287団体で、前年度315団体に対し28団体減（約9%減）となりました。

また、会員の怪我発生時に支払われる医療共済金は、ウイズコロナ禍で発生しませんでした。このほか、10年無事故の単位子ども会23団体に、賞状・記念品を贈呈して褒賞しました。

5 重要な契約の報告

契約の概要（業務名）	相手方	契約金額
札幌市ジュニアリーダー養成研修企画・実施業務	札幌市	106,865千円

6 管理運営の報告(令和3年度末)

☆ 理事：15名（非常勤14名、常勤1名）（会長1名、副会長2名、常務理事1名）

☆ 監事：2名

☆ 理事会：令和3年6月7日(月) 令和3年度 第1回理事会

令和4年3月28日(月) 令和3年度 第2回理事会

☆ 総会：令和3年6月27日(日)

☆ 事務局：34名（常務理事を除く）＊うち、嘱託職員25名

＜主要な職員＞

本部事務局：事務局長、事務局次長、主幹、係長

Ｃｏミドリ事務局：施設長、係長、調整主査